

友好祭二ユース

NO.-8
1957.6.29

第六回世界青年学生平和友好祭
東京都千代田区丸ノ内一、一
交通公社内丁E(23) 一六七九
日本実行委員会

旅券交渉続けらる

六月二十四日

- 外務省内田移住局長に会見
- 社会党各国会議員と各自要請をかねて懇談。
- 自民党国会議員と要請をかねて懇談。

六月二十五日

- 三政党への正式な協力申入れ
- 総評への協力要請
- 外務省移住局長
- 社会党国会議員と会見

六月二十六日

- 外務省井上次官、内田移住局長と会見
(穂積、帆足兩代議士、日暮研中川事務局長、義評北川国際部長、若狭等二衆院
茨城実行委員会代表、吉野代表委員、加藤事務局長他)
- 外務省 内田移住局長、広瀬課長、松本課長補佐と代表団が会見
- 社会党 自民党 国会議員への協力要請
- 大蔵省為替管理課長と会見
- 文部省芸術課長と会見

- 自民党中央川青年局長への協力申し入れ
- 文部省社会教育課長との会見

六月二十七日

- 外務省との会見
- 法務省との会見
- 警察庁への申し入れ
- 公安調査庁への申し入れ
- 自民党中央川青年局長への協力要請
- 各党中央川外務委員への協力要請
- 社会党中央川國際局長、安平廻路局長 勝間田政調会長と会見
- 勝間田政調会長、穂積代議士ら、友好祭代表派遣問題について石井首相代理と会見申入札
- タス通信記者と会見、日本における準備状況について発表

旅券対策委員会確立さる

二十三日の旅券カクとく緊急代表会議の際に決定された、旅券文渉委員によつて、初の旅券対策委員会が三十七日用かれた。

この日は常任委員、対策委員二十六名が出席して旅券回収の現状と見とつしについて検討し、五〇〇名全員の実現の爲に更に強力に運動をあしすゝめることを確認した。対策委員会の中には、四つの部門がもうけられ、各担当委員二名が特に責任をもつて各団体との連絡を密にして行動していくことがきめられた。

この対策委員会は、常任実行委員会をきめられた方針にしたがつて旅券獲得のための具体的な仕事をすゝめるが常任実行委員会からは吉田（日青協）降矢（日農）両氏が参加する。

尚対策委員会本部は衆議院第二議員会館三〇四号室、穂積先生の部屋。

訂正

支好祭ニユースN07号中、出版の誤りで、左記の県別名に誤りがありましたので訂正致します。

「愛知」が「奈良」となり、「橋木」とあるところが「愛知」となります。尚「橋木」は一頁二段目の十行目からになります

右、おはびと共に訂正致します。